

トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年4月8日～2017年4月14日までの推移】

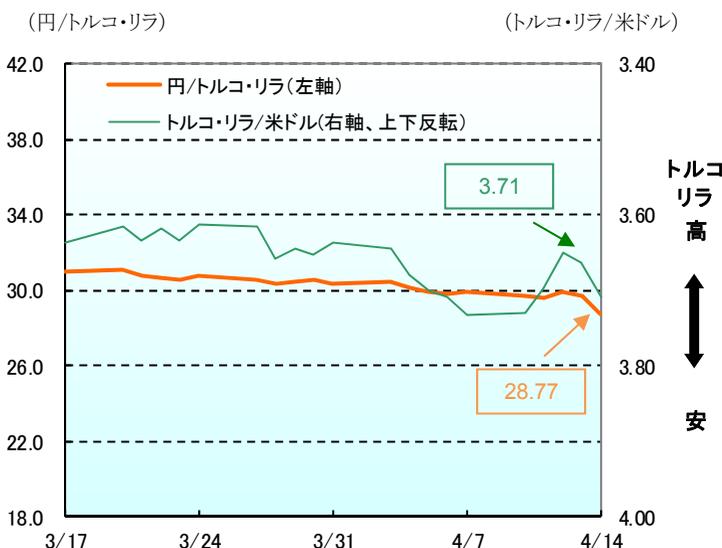
【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は、1週間を通して見ると対米ドルで上昇、対円で下落しました。また、トルコの2年国債金利はほぼ横ばいでの推移となりました。大統領権限拡大の是非を問う国民投票を週末に控える中、直前の世論調査でやや憲法改正賛成派が優勢との見方が強まった事から債券・為替ともに買われる局面もありました。しかし、多くの海外市場が休日となった14日には取引が閑散となる中、選挙結果への警戒等から債券・為替ともに売られました。

【2】今週の見通し

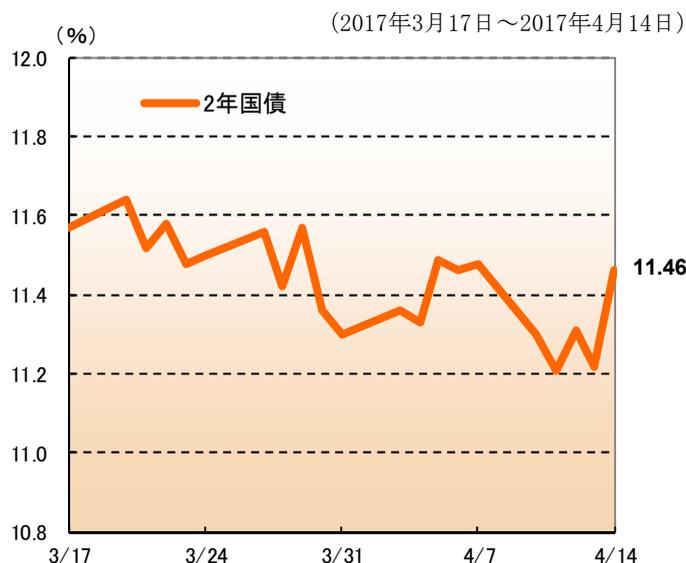
現地報道等によると、16日の国民投票では憲法改正賛成派が約51%を占め、エルドアン大統領が勝利宣言を行いました。これまでは政治的な不透明感を背景に、政治動向に注目が集まりやすい環境となっていました。今回の国民投票の結果を受けて不透明感は後退すると考えられます。政治的な問題が一段落した事を受けて、今後エルドアン大統領の目は政治面から経済面へ向くと予想します。今週は、政治的な不透明感が後退した事を背景に債券・為替ともに買い戻されやすい相場展開を予想します。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年3月17日～2017年4月14日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>